

本稿は、バンク・オブ・アメリカが2015年3月17日に発表した英文プレスリリースを翻訳したものです。英文の原文と翻訳内容に齟齬がある場合には原文が優先します。なお、英文プレスリリースは、バンク・オブ・アメリカのニュースルーム <http://newsroom.bankofamerica.com> でご覧いただけます。

平成27年3月18日

報道関係者お問い合わせ先：  
メリルリンチ日本証券 広報部  
03 6225 7550

**BofAメリルリンチファンドマネジャー調査：  
FRBの利上げ観測を背景に投資家の米国株離れが進む**

*欧州株の選好度が過去最高に*

[ニューヨーク、2015年3月17日] - バンクオブアメリカ・メリルリンチが発表した3月のファンドマネジャー調査によれば、米国連邦準備制度理事会（FRB）が今年第2四半期に利上げに動くとの観測が高まっていることを背景に、グローバル投資家は米国株の配分を大幅に減らしています。

差し引き19%のグローバル資産配分担当者が米国株を「アンダーウエート」としています。2008年1月以来の高水準の「アンダーウエート」で、差し引き6%が「オーバーウエート」としていた2月からは一転しました。米国株は過大評価されているとする投資家は差し引き23%と、2000年5月以降で最多となりました。

ユーロ圏株と日本株の配分がそろって増加しましたが、欧州へのシフトはまだ始まったばかりであることが投資家の回答からうかがえます。今後12ヵ月間に最も「オーバーウエート」にしたい地域に欧州を挙げた回答者は差し引き63%と、この設問を開始した2001年以降の最多記録を更新し、欧州を選好する投資家は差し引き18%だった1月から急増しました。

また、米国株離れの動きも持続するとみられます。差し引き35%が最も「アンダーウエート」にしたい地域に米国を挙げており、米国株の配分はほぼ10年ぶりの弱気の水準にあります。欧州と米国の差は差し引きで98%ポイントに急拡大し、同じく記録更新となりました。

3月の調査では、FRBの利上げ開始時期の後ずれを予想する動きが止まり、むしろ投資家は予想時期を前倒し始めたことがうかがえます。第2四半期の利上げ開始を予想する投資家は28%から34%に増加する一方、第3四半期を予想する投資家は減少しました。これを反映する形で、回答者の差し引き2%が米国株は過大評価されていると判断しています。過大評価の見方が示されたのは、2009年以來のことです。

BofAメリルリンチ・グローバルリサーチのチーフ・ストラテジスト、Michael Hartnettは、「投資家のコンセンサスは、ドル高が世界経済や市場にとってネガティブ要因ではなく、ポジティブ要因として作用することを示唆している。」と述べています。欧州株/クオンツ・ストラテジスト、Manish Kabraは次のように述べています。「欧州株への強気は未知の水準に達した。金融株が買われているのは国内景気への自信を浮き彫りにしており、また、先月上昇した勢いを駆って欧州輸出企業への確信が強まっている。」

## インフレおよび金利上昇見通しが急激に高まる

グローバル投資家の間ではインフレと金利の上昇観測が急速に高まっています。3月の調査では、世界の消費者物価の大幅なインフレを予想するグローバル投資家は差し引き52%と、2月の差し引き29%、1月の差し引き14%から増加しました。さらに、世界の金融政策は引き締められる可能性があるとの見方が増えています。現在の政策は過度に景気刺激型と判断する投資家は差し引き34%と、1カ月前の差し引き26%から増加しました。

長期金利、短期金利ともに上昇を予想する投資家が増えています。12カ月後に短期金利(3カ月物)の上昇を予想する投資家は差し引き66%と、2月の差し引き53%から増加しました。12カ月後に長期金利(10年物)の上昇を予想するのは差し引き63%と、差し引き57%から増加しました。

## 欧州強気派が銀行株を買い急ぐ

グローバル投資家の欧州への強気に呼応するように、欧州投資家は金融サービス・セクターの配分を大幅に増やしています。銀行株を「オーバーウエート」とする欧州投資家は差し引き22%に急増しました。前月は差し引き26%が「アンダーウエート」としていました。また、前月は差し引き3%が「アンダーウエート」としていた保険株は差し引き31%の「オーバーウエート」に転じました。

企業利益の回復への強い確信がうかがえます。地域調査では、欧州企業の2桁の増益を予想する回答者が差し引き38%にのびました。2月はわずか差し引き3%、1月は2桁増益の可能性は小さいとする回答者が差し引き43%に達していました。差し引き88%の地域調査回答者が欧州経済は今後1年間に「強まる」と予想しており、前月の差し引き81%から増加しました。

## 投資家は中国のデフォルトを警戒

中国の債務の水準を巡る疑念がくすぶる中、デフォルトを警戒する投資家が増えています。中国のデフォルトは世界市場における2番目に大きいテール・リスクと受け止められています。最大のリスクに中国のデフォルトを挙げた投資家は前月の14%から19%に増加しました。最も多くが最大のリスクとして挙げたのは引き続き「地政学的リスク」です。

さらに、グローバル新興国を「アンダーウエート」としている資産配分担当者はこの1カ月間で差し引き1%から差し引き11%に増加しました。差し引き57%のグローバル調査回答者が今後12カ月間に最も「アンダーウエート」にしたい地域資産クラスにグローバル新興国を挙げました。差し引き63%からは減少したものの、過去最高に近い水準にとどまっています。

## BofA メリルリンチファンドマネジャー調査

3月調査は3月6日から12日までの期間に実施されました。全体で207人の機関投資家が参加し、これらの機関投資家の運用資産総額は5,650億ドルに達します。その中でグローバルな質問に回答した機関投資家は168人で、運用資産総額は4,690億ドル。特定地域の質問に回答した機関投資家は92人、その運用資産総額は1,920億ドルでした。調査はBofAメリルリンチ・リサーチが市場調査会社のTNSの協力の下に実施しました。

TNS は 50 カ国以上を網羅する自社の国際ネットワークを通じ、80 カ国以上で国内・国際組織にマーケット情報を提供している世界第 4 位のマーケット情報グループです。

#### BofA メリルリンチ・グローバルリサーチ

BofA メリルリンチ・グローバルリサーチは世界の 3,400 銘柄を超える株式と約 1,100 銘柄超のクレジットを調査対象とし、多くの機関によるランキングで上位に選出されています。直近では、インスティテューショナル・インベスター誌の 2014 年世界の調査部門第 1 位、2015 年 All-Europe Fixed Income 調査で第 1 位、2014 年 All-Europe 調査で第 1 位、2014 年 All-Asia 調査第 1 位(4 年連続)、2014 年欧州・中東アジア新興国調査で第 1 位、2014 年の All-America 調査で第 2 位に選ばれました。また、同誌の 2014 年の All-China 調査で第 2 位、2014 年の All-America Fixed Income 調査で 3 年連続の第 2 位となりました。

#### バンク・オブ・アメリカについて

バンク・オブ・アメリカは世界最大の金融機関の一つであり、個人、中小企業、機関投資家、大企業及び政府を顧客とし、銀行業務、投資業務、資産運用業務、その他の財務管理及びリスク管理のための商品やサービスを幅広く提供しています。約 4,800 店のリテール銀行支店、約 15,800 台の ATM、また現在 3,100 万人のユーザーが利用し、受賞歴もあるオンライン・バンキング、1,700 万人以上が利用するモバイル・バンキングを通じ、約 4,800 万の個人や小規模企業の顧客と取引を行っています。バンク・オブ・アメリカは世界有数のウェルス・マネジメント会社であるとともに、企業金融、投資銀行、広範な資産クラスにわたるトレーディングにおいても世界的なリーダーであり、世界中の企業、政府、機関、個人などにサービスを提供しています。同社は、革新的でありながら利用しやすいオンラインの商品やサービスにより、約 300 万人の小規模事業主の顧客に対して業界有数のサポートを提供しています。バンク・オブ・アメリカは 40 カ国以上で顧客事業を展開しています。バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの株式(取引略号: BAC)はニューヨーク証券取引所に上場されています。

バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションがグローバル・バンキング及びグローバル・マーケット事業を行うための営業上のブランド・ネームです。貸出、デリバティブなどの商業銀行活動は、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションのバンキング関連会社が実施しています。これには、FDIC 加盟銀行のバンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイが含まれます。証券、財務アドバイザーなどの投資銀行活動は、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの投資銀行関連会社(投資銀行関連会社)が実施しています。これには、メリルリンチ・ピアース・フェナー・アンド・スミス・インコーポレーテッドが含まれ、これらは FINRA(米国金融取引業規制機構)及び SIPC(米国証券投資者保護公社)加盟の登録ブローカーディーラーです。投資銀行関連会社が提供する投資商品は FDIC の保険対象ではなく、損失が生じることがあり、銀行による保証はありません。

バンク・オブ・アメリカのさらなるニュースについては、バンク・オブ・アメリカのニュースルーム(<http://newsroom.bankofamerica.com>)をご覧ください。

[www.bankofamerica.com](http://www.bankofamerica.com)